

福島の子どもたちにクリスマスカードを発送 ～被災地で暮らす子どもたちの健やかな成長を願って～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、東日本大震災の被災地で暮らす子どもたちにクリスマスカードを贈る活動に参画し、成瀬哲夫・取締役会長と西村社長が福島県内の子どもたちに宛てたメッセージを発送しました。



心を込めてメッセージを綴る成瀬会長（左）と西村社長

賛同したのは「被災地の子どもたちにクリスマスカードを届けよう！」プロジェクト（代表：田中拓男・中央大学名誉教授）。田中名誉教授の呼びかけで2011年冬に始まり、これまでに約45,000通を宮城、福島両県の小中学校に贈っています。今冬は岩手県の小学校にも届けるということです。当社は昨冬に引き続き、2回目の参加となります。

成瀬会長は「いつも笑顔を忘れず、元気に生きよう。あかりはあなたを、あなたの家族を、わたしたちみんなを照らす大きな光になります」、西村社長は「あなたのやさしさは、きっと友達や家族に伝わって、またあなたのもとにもどってきます」などと綴りました。送付したカードは、福島市内の教育施設などに展示された後、子どもたちに届けられます。

同プロジェクトのスタッフで、田中名誉教授の次女・絵里子さんは「被災地にモノは揃っても、人とのつながりはまだまだ戻ってきていません。私たちにできるのは、被災者の皆さんに変わらず声をかけ続けることです」と話しています。

当社は、社会との信頼関係の構築と豊かな社会づくりを目指し、今後も社会貢献活動を続けてまいります。